

# 戸田市薬剤師会 議事録

記録日	R2、1、28
記録者	芹澤

日時	令和2年1月28日 13:00~15:00	出席者	染川、武長、野口、伊藤、佐貫、 芹澤、宮下（由）
場所	戸田市文化会館302会議室		

## 議題

会長報告  
副会長・委員会報告  
各理事・委員会報告

## 会議内容

染川会長報告

●1/23 県薬の代表者会議に出席

連絡事項

- ① 埼玉県薬剤師会事業・会議予定
- ② 高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施の施行について
- ③ 日本薬剤師会正会員向け保険制度について
- ④ 令和2年度埼玉県委託事業について
  - 認知症対応薬局の推進
  - ポリファーマシー対策の推進
- ⑤ オンライン資格確認の導入について  
令和2年8月以降各メーカーから導入費用の概算が出る。国からの補助金あり。
- ⑥ 抗がん剤レジメン集のホームページ掲載のお知らせ  
上尾中央総合病院 2020.1.23～
- ⑦ 薬局における糖尿病性腎症重症化予防対策事業の途中経過について
- ⑧ 埼玉県薬剤師会における血圧手帳の対応について  
県薬では作成しない。
- ⑨ ジェネリック医薬品の使用促進について
- ⑩ 社旗保険診療報酬支払基金の事業について

報告事項

- ① 今冬のインフルエンザ総合対策について
- ② 令和元年度登録販売者のための一般用医薬品基礎知識研修会 DVD について

この中で

- ③ 委託事業については具体的な内容がこれからおりてくるとのこと。
- ⑤ オンラインの資格確認の導入について、国から補助金がありるとともに社保国保ともに返戻が

減るとのこと。

また、レジ袋有料化の件に関しでは県薬は現時点では（何かしらの指針を出すことは）考えていない、とのこと。

●第7次埼玉県地域保険医療計画の5項目について年度毎の取り組みとその実績報告をする。

「がん医療」「感染症対策」「災害時医療」「医薬品等の安全対策」「在宅医療の推進」

このうち災害医療については理事会が兼務する。

毎年6～8月に実績を報告することになっている。野口副会長も同様の発言をしたが、薬剤師会としての活動はこの計画5項目に沿うものとし、各委員会での活動を毎回これに照らし報告をする。

●県薬125周年記念誌の寄稿依頼あり。戸田市薬剤師会の年表、過去の写真など。

武長副会長

<薬剤師連盟>

衆議院の解散総選挙予定あり。

<学校薬剤師委員会>

●何名か退任するのに伴い、募集した。野口副会長より「薬剤師会として市に推薦する責任もあるし、継続してもらい責任もあるので質の担保を取らないといけないのでは」との意見あり。

以下に学校薬剤師会としての方向性に対し理事会にて全会一致で承認された

・薬剤師会としては市の委託事業である小中学校の学校薬剤師について推薦をし、担当者を決め対応する。幼稚園及び高校に関して薬剤師会は関わらず個人での契約、対応とする。なお、幼稚園及び高校皮より薬剤師会に対応を求めてきた場合にあっては、この案件には応じず、統括している機関組織と平準化した内容で対応を協議するものとする。

・勤務中の学校薬剤師活動に関し、事業者の理解をしっかりと得られているかについて明確にする必要がある。A 会員は保健所に兼務届を提出する申請書に会社印が必要なので大丈夫だと思うが、B 会員に関しては理解が得られているか不透明である。次回 B 会員の学校薬剤師に対し事業者からの「推薦状」や「承諾書」の類の書類をもらうその内容について考えていく。

・現在のルールでは学校薬剤師になるには B 会員になる必要がある。例えば C 会員の様な資格を新設し、地域で薬剤師の免許あるが使っていない方の掘り起こしを行い学校薬剤師の活動につなげていくことを議論する。

野口副会長

●「戸田市防災条例を作る」会議に出席。医療系の他行政警察消防などからも出席。2年くらいかけて条例を作るビジョン。流通、物資、ボランティアなど薬剤師会からの意見も出す。

●戸田市で自立支援型地域ケア会議が始まる。2～3ヶ月に一度程度の開催。予防給付者（要支援1、2）が対象でいくつかの資料をもとに「薬学的な視点でその方の生活レベルを考える」。

<在宅委員会>

●2/6 他職種連携の会が開催されます。「おかわりの会」の立ち上げもこの他職種連携の会がきっかけとなった。戸田市の薬剤師の出席が少ないようなので再募集した。

●3/11 在宅委員会主催の情報交換会開催。

伊藤理事

<学術研修委員会>

●1/21 学術講演会は22名。少し人数が減っている。アンケート結果を精査しながら回数は維持か増やしていきたい。野口副会長より「今後の研修計画は第7次埼玉県地域保健医療計画に沿ったものとして考えて見てはどうか」との指摘あり。意義なしでその方向性を全会一致で確認。

<保健委員会>

●2/28 戸田中央HP薬薬連携研修会「ポリファーマシー」のSGDについて、主催は戸田中央総合病院、後援で戸田市薬剤師会は入ることに全会一致で承認。研修シールは毎回病院側で用意してもらっていたが、今回は薬剤師会の方で用意する。

佐貫理事

<薬学性実務実習委員会>

●11月で無事1、2、3期終わりました。イオン薬局様のセルフメディケーションは予定通り行えた。スズケンの物流見学・体験は3期は未実施であったが、様々な条件が重なって実施できなかったとのことで来期は予定通り行えるとのこと。

●2/25 より第1期の実習が始まります。

芹澤理事

<総務委員会>

●総会の日程について例年6月の第2火曜日に行っている。実施アンケートの中で昼に出かけることが困難という方が何人もいた。出られない方はずっと何年も出れないことになるので、夜の開催も考えたい。これに対し会長以下複数の理事より「夜と昼の隔年開催」の案が出され、全会一致で承認された。そして今年は6/9の夜19:30からの開催となった（場所は未定）。

## 決定事項

- 第7次埼玉県地域保健医療計画に沿った薬剤師会活動。
- 学校薬剤師の取り扱いを小中学校とし、幼稚園、高校は個別対応。
- 学校薬剤師になるのに開設者、管理薬剤師以外の方は事業者より承諾書の類をもらい薬剤師会に提出。
- 戸田中央総合病院薬薬連携研修会は後援として支える「。
- 学術研修のテーマについても第7次埼玉県地域保健医療計画に沿った内容とする。
- 社員総会を6/9夜の開催とする。

## 検討事項

- 学校薬剤師の事業者承諾書の項目検討
- 新たな枠組みの会員の設定と定款の変更